

SDSインプラントBASICウェビナーのご案内

8月23日にジルコニアインプラントの最高峰『SDSジルコニアインプラントシステム』のベーシックウェビナーを開催いたします。

<講師>

新福泰弘DDS PhD ABAHP

BDMセンター長

(医) インペリオクリニック理事長

SDS Zr Implant Specialist

SDS Biological Dentistry Specialist

KOIS MENTOR

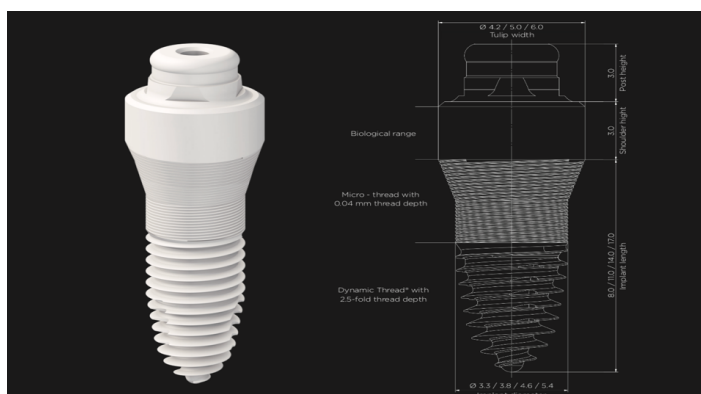


今後、インプラント周囲炎と縁を断ちたい先生、インプラント治療後に綺麗なピンク色の歯肉を獲得されたい先生、抜歯即時埋入にて治療期間を短縮したい先生にとっては、SDSジルコニアインプラントがその解決策となります。

ジルコニアインプラントの生みの親が、上記写真右側のVolz歯科医師であり、10年以上前に彼がそれまでのジルコニアインプラントメーカーから独立し、その改善点を克服するために自らのジルコニアインプラントメーカーとして立ち上げたのがSDSジルコニアインプラントです。

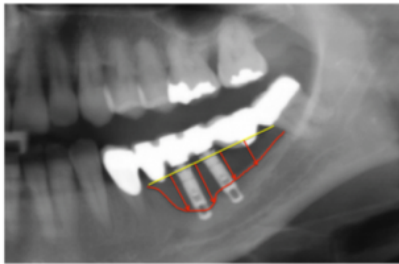
従って、SDSジルコニアインプラントは、他のジルコニアインプラントとは構造、表面正常、埋入コンセプトなどが全く異なります。

事実SDSジルコニアインプラントは、ジルコニアインプラントの販売シェアで世界のTOPを走り続けています。



近年、ヨーロッパではチタンを避ける傾向が高まっている

- Silent Inflammation
- Auto-Immunerkrankung
- Axonaler Transport
- Allergien und Unverträglichkeiten



チタンに少なからずアレルギー性があることはみなさんご存知のことと思います。しかし、チタンが避けられ始めた理由はそれだけではありません。上記の模式図の通り、チタンは粒子化することに根本的問題があるのです。

チタンインプラントから粒子化され周辺に拡散したチタンは、まず、近傍のマクロファージに取り込まれTNF- α やIL-1 β などの炎症性サイトカインを発生させます。これが上記の左の写真のような周辺歯槽骨の高度吸収を引き起こすと考えられています。

また、チタン粒子は容易に毛細血管やリンパ管終末から取り込まれ全身の循環系に入ります。その結果、免疫細胞からIFN- γ が放出され、それによって全身的な炎症傾向が高まるとともに、チタン粒子はMHC分子（免疫細胞が自己であることを認識し攻撃の対象にならない分子）に抗原ペプチドとして結合しMHC分子を非自己に変えてしまうのです。その結果、免疫細胞が自己を攻撃してしまう自己免疫疾患を誘発することになります。

以上のことから、チタンは避けられ始め、その流れは、化粧品、日焼け止めそして食品などへのチタン粒子の配合禁止だけでなく、チタンインプラントの回避と言う流れができつつあります。

インプラント手術前に正常化しておくべき血液検査項目

医科病院で骨に穴を形成するような手術をする場合、必ず全身の状態を把握するための血液検査あるいは尿検査が行われるはずです。

どうして、歯科クリニックで顎骨に穴を開けるインプラント埋入手術をする場合には、そのような検査がされないのでしょうか？不思議に思われた先生は少なくないと思います。

実際に、口腔内は多種多様な細菌の巣窟であり、口腔外科手術を行えばそれらの病原性微生物は容易に体内に侵入してきます。その時に、全身の免疫力が低下していたとしたら、あるいは、人工股関節や心臓に人工弁を装着していたとしたら命に関わるような感染症を併発するリスクは否定できません。

また、骨粗鬆や脂質異常のある患者では、インプラントと歯槽骨の結合が十分に獲得できないリスクが生じます。

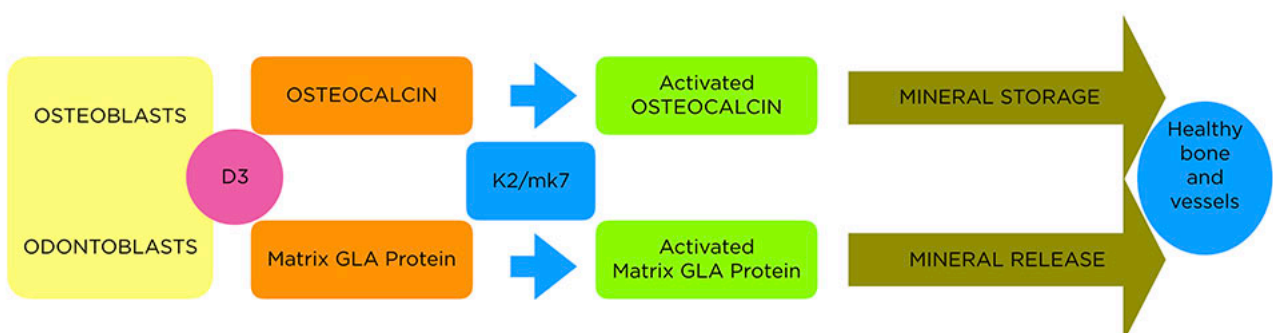
従って、インプラント手術を始め、口腔観血処置を行う場合には、必ず事前の全身状態の把握は必須であり、調べておくべき血液検査があります。

例えば、25ヒドロキシVDは必ず調べるべき検査項目です。調べてみるとわかりますが、ほとんどの患者さんが目標値に届いておりません。

目標値は50ng/ml以上ですが、ほとんどの患者さんは30以下です。

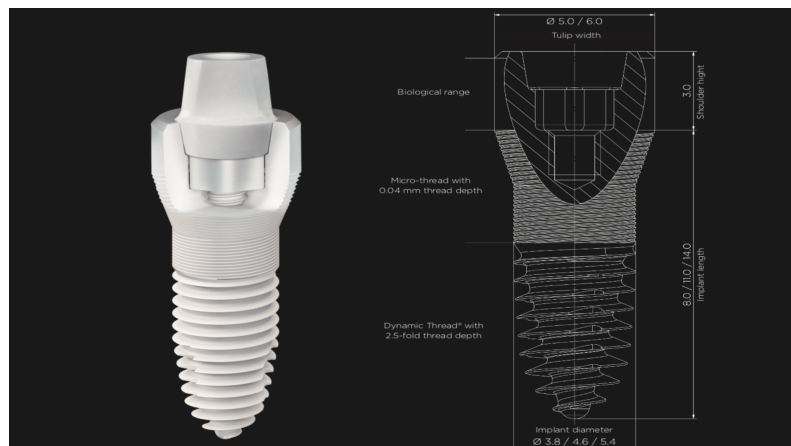
このような異常値が出た場合、手術前に正常化させなければ、手術のリスクを下げることはできませんので、安全な口腔外科治療を提供できないということになります。

本ウェビナーでは、術前に調べるべき検査項目と、異常値が出た場合の対処法についてもお話しいたします。



たくさんのタイプが揃えられたSDSジルコニアインプラント

SDSジルコニアインプラントには言うまでもなく、2ピースタイプがありますので、即時荷重できないケースにはこれを選択し、一定の待機期間を経てアバットメントを装着してその後の補綴治療に進みます。



しかし、SDSジルコニアインプラントの優れた点はこれだけではありません。

右図のように、抜歯窩の形態に合わせてオバール型、バルコニー型がありますし、サイナス様にはテント型、歯槽長の短い場合はショートタイプ、そして頬舌径を拡大したい場合のBober Growth

SWISS
BIOHEALTH®



Implantなどのシリーズが取り揃えられています。

従来のジルコニアインプラントの特徴に加え、以上の構造学的特徴やその他の物性向上や表面性状向上を併せ持つSDSジルコニアインプラントは、以下の特性を保持しています。

- ・非常に強度が高く折れにくい。
- ・応力のかかりやすい細い部分や2ピースタイプのネジの最深部を太くそして歯肉縁に設定してあるので、折れにくく、問題が起こっても対処しやすい。
- ・インプラント周囲炎を起こさない
- ・PINK ESTHETICが美しい
- ・抜歯即時埋入および即時荷重に適している

Dr.VolzのWebinarを受講しSDSインプラントを購入

スイスのSDS本社からの通達により、上記のSDS BASICウェビナーとDr.VolzのWebinarの両方を受けなければ、SDSインプラントを購入する権利が得られません。

今後、脱チタンインプラントが加速し、ジルコニアインプラントへのシフトが進んで行くことは間違いないと思われますので、ジルコニアインプラントを導入されるのであれば、最も高品質で安全性の高い、そして、FDAの承認を得ているSDSジルコニアインプラントを選択されるべきと思います。

また、SDSインプラントは、それに付随する生物学的歯科治療（Biological Dentistry）についての教育も充実していますので、インプラント以外の観血処置における様々なコンセプトについても学べます。

<セミナー日時と申し込み方法>

日時：2020年8月23日 9:00 ～ 13:00（途中休憩あり）

会費：先着10名様 55,000円（正規料金110,000円）消費税込み

会費お支払いが確認でき次第、案内状と受講方法についてご説明いたします。

申し込みご希望の方は、下記のメールにご連絡ください

info@biodm.org